

平成27年1月16日

各位

会社名 株式会社京王ズホールディングス
代表者名 代表取締役社長 長野 成晃
(コード：3731 東証マザーズ)
問い合わせ先 人事法務部 法務広報課
(TEL：022-722-0333)

(訂正)「平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当社は、本日付「有価証券報告書等の訂正報告書および平成27年3月期第4四半期報告書の提出ならびに過年度決算短信等に関するお知らせ」においてお知らせいたしましたとおり、社内調査委員会による調査の結果、当社における不適切な取引および訂正の対象となり得る会計処理が判明したことを受けて、決算短信等の訂正を行いましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、最初に訂正箇所の主な内容を記載したうえで、訂正後の全文を添付して該当箇所下線を付して表示するとともに、参考として訂正前の全文を添付しております。

今般、不適切な会計処理を未然に防止できず、株主様、投資家様及び関係者の皆様には、多大なるご迷惑とご心配をおかけいたしますことを深くお詫び申し上げます。

記

1. 訂正を行う決算短信等

決算短信等の名称 平成25年第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)
決算短信等の公表日 平成25年6月14日

2. 訂正の主な内容等

		訂正前	訂正後	影響額
平成25年10月期 (第21期)第2四半期	売上高	7,898	7,898	—
	営業利益	145	191	46
	経常利益	183	171	△12
	当期純利益	54	7	△47
	総資産	5,270	5,064	△206
	純資産	2,480	2,278	△201

以上

平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月13日

上場会社名 株式会社京王ズホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3731 URL http://www.keiozu.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)横江 実
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)湯瀬 昭宏 (TEL)022(722)0333
 四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	7,898	6.8	191	△22.0	171	△26.6	7	94.8
24年10月期第2四半期	7,396	15.1	245	25.1	233	104.8	147	△47.6

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 22百万円(△85.0%) 24年10月期第2四半期 148百万円(△46.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	1 38	—
24年10月期第2四半期	26 78	—

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第2四半期	5,064	2,278	45.0	414 27
24年10月期	5,748	2,284	39.7	415 20

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 2,276百万円 24年10月期 2,281百万円

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0 00	—	500 00	500 00
25年10月期	—	0 00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月期(予想)の期末1株当たり配当金については、平成25年5月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	7.5	550	20.0	500	29.0	400	100.5	72 78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年5月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年10月期2Q	5,614,600株	24年10月期	5,614,600株
② 期末自己株式数	25年10月期2Q	118,500株	24年10月期	118,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年10月期2Q	5,496,100株	24年10月期2Q	5,496,100株

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成24年12月13日開催の取締役会決議により、平成25年5月1日を効力発生日として、当社株式を1株につき100株の割合をもって分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(連結経営成績サマリー)

(百万円未満切捨て)

	平成24年10月期 第2四半期	平成25年10月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	7,396百万円	7,898百万円	502百万円	6.8%
営業利益	<u>245百万円</u>	<u>191百万円</u>	<u>△54百万円</u>	<u>△22.0%</u>
経常利益	<u>233百万円</u>	<u>171百万円</u>	<u>△62百万円</u>	<u>△26.6%</u>
四半期純利益	<u>147百万円</u>	<u>7百万円</u>	<u>△139百万円</u>	<u>△94.8%</u>
1株当たり四半期純利益	<u>26.78円</u>	<u>1.38円</u>	<u>△25.40円</u>	<u>△94.8%</u>

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による景気対策により一部に不安定要素はあるものの、景気上昇の期待感の中、消費意欲にも改善がみられることから企業業績についても明るい兆しが見えてまいりました。

そのような状況のなか、新卒採用を積極的に行った結果、当社グループの売上高は7,898百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は191百万円（前年同期比22.0%減）、経常利益は171百万円（前年同期比26.6%減）、四半期純利益は7百万円（前年同期比94.8%減）となっております。これは主に積極的な営業の展開による、販売促進費並びに介護施設の立上げ費用の増加による、販売費及び一般管理費が増加したことによるものであります。また、当社グループにおける主力事業である移動体通信店舗事業におきまして、販売台数については前年同月対比において堅調に推移しているものの、平均粗利単価が低下したことが、利益減の主な要因となります。

尚、東日本大震災による影響から安全確保のため、一部営業を見合わせていた当社保有の主要賃貸不動産が今般全壊認定となり、行政負担による工事が開始されました。これに伴い固定資産除却損として、152百万円の特別損失の計上を行っております。工事負担費用は伴わないことから、今後はその有効利用を促進していく予定であります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① 移動体通信店舗事業

・売上高	7,525百万円	（前年同期比7.0%増）
・営業利益	206百万円	（前年同期比35.1%減）

移動体通信店舗事業におきましては、積極的な営業活動や今後の更なる規模拡大に向けた、新卒の採用を行い、前年実績を上回る総販売台数を獲得し、売上高は7,525百万円（前年同期比7.0%増）となりました。しかしながら、収益性の高い商材の販売比率を高めることはできず、携帯関連商品の販売による利益確保も足りなかったことから、平均粗利単価が低下し、営業利益は、206百万円（前年同期比35.1%減）となっております。

② テレマーケティング事業

・売上高	277百万円	（前年同期比19.0%増）
・営業利益	<u>94百万円</u>	（前年同期比 <u>70.4%</u> 増）

テレマーケティング事業におきましては、安定的な収益の確保と同時に、積極的に人員の拡大・育成に注力した結果、売上高は277百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は94百万円（前年同期比70.4%増）となっております。今後も新卒採用を軸に積極的な雇用拡大を行っていく予定です。

③ 不動産賃貸事業

・売上高	6百万円	(前年同期比14.0%減)
・営業利益	0百万円	(前年同期比 —)

不動産賃貸事業におきましては、主要賃貸不動産について安全確保のために一部営業を見合わせているため、売上高は6百万円(前年同期比14.0%減)、営業利益0百万円(前年同期は2百万円の営業損失)となっておりますが、今般全壊認定となり、行政負担による工事が開始されました。これに伴い固定資産除却損として、152百万円の特別損失の計上を行っております。工事負担費用は伴わないことから、今後はその有効利用を促進していく予定であります。

④ その他

・売上高	88百万円	(前年同期比27.3%減)
・営業損失	△35百万円	(前年同期比 —)

震災の影響もあり、通信回線サービス事業につきましては営業を縮小しておりますが、医療・介護事業において介護予防通所介護施設を運営しており、売上高は88百万円(前年同期比27.3%減)、営業損失35百万円(前年同期は40百万円の営業損失)となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(百万円未満切捨て)

	平成24年10月期末 (平成24年10月31日)	平成25年10月期 第2四半期末 (平成25年4月30日)	増減額
資産合計	<u>5,748百万円</u>	<u>5,064百万円</u>	<u>△683百万円</u>
負債合計	<u>3,463百万円</u>	<u>2,786百万円</u>	<u>△677百万円</u>
純資産合計	<u>2,284百万円</u>	<u>2,278百万円</u>	<u>△6百万円</u>
自己資本比率	<u>39.7%</u>	<u>45.0%</u>	<u>5.3 point</u>
1株当たり純資産	<u>415.20円</u>	<u>414.27円</u>	<u>0.93円</u>

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、流動資産は597百万円減少して2,088百万円、固定資産は85百万円減少して2,968百万円となりました。これは主に長期借入金の返済に伴う現金及び預金363百万円の減少、並びにのれん償却費の計上によるものであります。その結果、総資産は683百万円減少して5,064百万円となりました。

負債の状況は、流動負債は131百万円減少して2,402百万円、固定負債は545百万円減少して383百万円となりました。これは主に長期借入金の長短振替並びに社債及び借入金の合計247百万円の減少によるものであります。その結果、負債総額は677百万円減少して2,786百万円となりました。

純資産の状況は、6百万円減少して2,278百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

	平成24年10月期 第2四半期連結会計期間 (平成23年11月1日～ 平成24年4月30日)	平成25年10月期 第2四半期連結会計期間 (平成24年11月1日～ 平成25年4月30日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	200百万円	49百万円	△150百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	60百万円	△139百万円	△200百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△436百万円	△276百万円	160百万円
現金及び現金同等物の 増減額	△175百万円	△360百万円	△184百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	521百万円	325百万円	△196百万円

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して360百万円減少して325百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、49百万円（前年同期は200百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の25百万円と固定資産除却損の計上152百万円、売上債権の減少207百万円、仕入債務の減少344百万円と法人税等の支払48百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、139百万円（前年同期は60百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出96百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、276百万円（前年同期は436百万円の支出）となりました。これは主に借入金の返済312百万円によるものであり、前年同期と比較して借入額が少なくなっております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年12月13日に公表いたしました通期連結業績予想を据え置いております。業績予想の修正が必要な場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	707,484	344,078
売掛金	1,476,312	1,268,554
商品	294,615	277,760
その他	209,927	200,684
貸倒引当金	△2,511	△2,511
流動資産合計	2,685,828	2,088,565
固定資産		
有形固定資産		
土地	617,803	617,803
その他(純額)	363,750	234,938
有形固定資産合計	981,553	852,742
無形固定資産		
のれん	1,604,282	1,548,328
その他	28,330	18,301
無形固定資産合計	1,632,613	1,566,630
投資その他の資産		
株主及び株主保有会社に対する金銭債権	641,391	639,862
その他	440,776	549,847
貸倒引当金	△642,352	△640,823
投資その他の資産合計	439,815	548,885
固定資産合計	3,053,982	2,968,258
繰延資産		
社債発行費	8,760	7,870
繰延資産合計	8,760	7,870
資産合計	5,748,571	5,064,694

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289,499	945,177
短期借入金	112,000	126,400
1年内返済予定の長期借入金	362,399	653,208
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
未払法人税等	67,243	17,944
賞与引当金	42,589	42,067
災害損失引当金	16,500	—
その他	554,262	527,888
流動負債合計	2,534,494	2,402,737
固定負債		
社債	285,000	240,000
長期借入金	618,725	111,372
その他	25,377	32,064
固定負債合計	929,103	383,436
負債合計	3,463,597	2,786,174
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,086	1,199,086
資本剰余金	822,760	822,760
利益剰余金	270,229	250,360
自己株式	△9,798	△9,798
株主資本合計	2,282,277	2,262,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△296	14,469
その他の包括利益累計額合計	△296	14,469
新株予約権	1,249	—
少数株主持分	1,743	1,641
純資産合計	2,284,974	2,278,519
負債純資産合計	5,748,571	5,064,694

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	7,396,517	7,898,593
売上原価	6,117,914	6,648,072
売上総利益	1,278,603	1,250,520
販売費及び一般管理費	1,033,048	1,059,033
営業利益	245,554	191,487
営業外収益		
受取利息	388	329
貸倒引当金戻入額	30,271	1,529
為替差益	—	6,361
その他	2,740	5,436
営業外収益合計	33,400	13,656
営業外費用		
支払利息	20,848	11,231
休止固定資産関係費用	12,144	20,653
その他	12,104	1,653
営業外費用合計	45,097	33,537
経常利益	233,857	171,606
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,249
受取補償金	—	7,651
預り敷金償却益	—	21,210
災害損失引当金戻入額	—	16,500
不正関連損失引当金戻入額	24,353	—
その他	4,721	—
特別利益合計	29,074	46,611
特別損失		
固定資産除却損	5,637	152,222
災害による損失	—	1,585
和解金	1,605	3,500
不明支出金損失	7,640	35,175
特別損失合計	14,883	192,482
税金等調整前四半期純利益	248,049	25,735
法人税、住民税及び事業税	22,709	9,086
法人税等調整額	78,825	9,139
法人税等合計	101,534	18,225
少数株主損益調整前四半期純利益	146,514	7,509
少数株主損失(△)	△670	△102
四半期純利益	147,185	7,611

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	146,514	7,509
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,449	14,765
その他の包括利益合計	2,449	14,765
四半期包括利益	148,963	22,275
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	149,634	22,377
少数株主に係る四半期包括利益	△670	△102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	248,049	25,735
減価償却費	45,089	43,906
のれん償却額	57,295	57,412
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30,271	△1,529
賞与引当金の増減額(△は減少)	△12,876	1,173
受取利息及び受取配当金	△388	△344
支払利息	20,848	11,231
不正関連損失引当金戻入額	△28,530	—
固定資産除却損	5,637	152,222
受取補償金	—	△7,651
新株予約権戻入益	—	△1,249
不明支出金損失	7,640	49,420
売上債権の増減額(△は増加)	267,957	207,757
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,504	16,537
仕入債務の増減額(△は減少)	△308,301	△344,321
その他	△43,847	△59,231
小計	225,798	151,068
利息及び配当金の受取額	797	127
利息の支払額	△18,211	△12,078
法人税等の支払額	△498	△48,085
法人税等の還付額	26	94
補償金の受取額	—	7,651
不明支出金損失額	△7,640	△49,420
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,272	49,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,658	—
有形固定資産の取得による支出	△39,098	△54,105
有形固定資産の売却による収入	1,904	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,565
投資有価証券の取得による支出	—	△96,042
敷金及び保証金の差入による支出	△6,775	△4,024
敷金及び保証金の回収による収入	2,893	4,949
役員に対する金銭債権の減少に伴う収入	—	9,000
株主に対する金銭債権の増加に伴う支出	—	△340
株主に対する金銭債権の減少に伴う収入	900	2,078
株主保有会社に対する金銭債権の増加に伴う支出	△124	△209
貸付けによる支出	—	△850
貸付金の回収による収入	—	1,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,358	△139,787

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	110,000
短期借入金の返済による支出	△112,000	△95,600
長期借入金の返済による支出	△272,288	△216,544
長期未払金の返済による支出	△143	△1,879
社債の償還による支出	△25,000	△45,000
配当金の支払額	△27,073	△27,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436,504	△276,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6,361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,874	△360,136
現金及び現金同等物の期首残高	697,460	685,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	521,586	325,347

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第2四半期連結累計期間(自平成23年11月1日至平成24年4月30日)

(千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	移動体通信 店舗事業	テレマーケ ティング 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,033,205	233,508	7,752	7,274,466	122,051	7,396,517	—	7,396,517
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,033,205	233,508	7,752	7,274,466	122,051	7,396,517	—	7,396,517
セグメント利益又は損失(△)	318,400	55,527	△2,063	371,864	△40,102	331,762	<u>△86,207</u>	<u>245,554</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療・介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△86,207千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間(自平成24年11月1日至平成25年4月30日)

(千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	移動体通信 店舗事業	テレマーケ ティング 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,525,354	277,834	6,667	7,809,855	88,737	7,898,593	—	7,898,593
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	73	73	△73	—
計	7,525,354	277,834	6,667	7,809,855	88,810	7,898,666	△73	7,898,593
セグメント利益又は損失(△)	206,654	<u>94,600</u>	98	<u>301,354</u>	△35,546	<u>265,807</u>	<u>△74,320</u>	<u>191,487</u>

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療・介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△74,320千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△74,247千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(参考)

平成25年10月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年6月13日

上場会社名 株式会社京王ズホールディングス 上場取引所 東
コード番号 3731 URL <http://www.keiozu.co.jp>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)横江 実
問合せ先責任者 (役職名)取締役管理部長 (氏名)湯瀬 昭宏 (TEL)022(722)0333
四半期報告書提出予定日 平成25年6月13日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年10月期第2四半期の連結業績(平成24年11月1日～平成25年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年10月期第2四半期	7,898	6.8	145	△38.3	183	△17.8	54	△62.0
24年10月期第2四半期	7,396	15.1	235	19.9	223	95.9	144	△48.5

(注) 包括利益 25年10月期第2四半期 69百万円(△52.5%) 24年10月期第2四半期 146百万円(△47.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年10月期第2四半期	10 00	—
24年10月期第2四半期	26 32	—

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年10月期第2四半期	5,270	2,480	47.0	450 93
24年10月期	5,905	2,439	41.3	443 25

(参考) 自己資本 25年10月期第2四半期 2,478百万円 24年10月期 2,436百万円

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年10月期	—	0 00	—	500 00	500 00
25年10月期	—	0 00	—	—	—
25年10月期(予想)	—	—	—	5 00	5 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月期(予想)の期末1株当たり配当金については、平成25年5月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

3. 平成25年10月期の連結業績予想(平成24年11月1日～平成25年10月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	7.5	550	27.1	500	25.5	400	16.4	72 78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年10月期の連結業績予想における1株当たり当期純利益については、平成25年5月1日付の普通株式1株を100株とする株式分割を考慮した金額を記載しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 — 社(社名) 、除外 — 社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 有

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年10月期2Q	5,614,600株	24年10月期	5,614,600株
② 期末自己株式数	25年10月期2Q	118,500株	24年10月期	118,500株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年10月期2Q	5,496,100株	24年10月期2Q	5,496,100株

(注) 当社は、平成25年5月1日付で普通株式1株を100株とする株式分割を行いました。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数(普通株式)を記載しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(業績予想の適切な利用に関する説明)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(株式分割について)

当社は、平成24年12月13日開催の取締役会決議により、平成25年5月1日を効力発生日として、当社株式を1株につき100株の割合をもって分割するとともに、単元株式数を100株とする単元株制度を採用しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

(連結経営成績サマリー)

(百万円未満切捨て)

	平成24年10月期 第2四半期	平成25年10月期 第2四半期	増減額	増減率
売上高	7,396百万円	7,898百万円	502百万円	6.8%
営業利益	235百万円	145百万円	△90百万円	△38.3%
経常利益	223百万円	183百万円	△39百万円	△17.8%
四半期純利益	144百万円	54百万円	△89百万円	△62.0%
1株当たり四半期純利益	26.32円	10.00円	△16.32円	△62.0%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による景気対策により一部に不安定要素はあるものの、景気上昇の期待感の中、消費意欲にも改善がみられることから企業業績についても明るい兆しが見えてまいりました。

そのような状況のなか、新卒採用を積極的に行った結果、当社グループの売上高は7,898百万円（前年同期比6.8%増）、営業利益は145百万円（前年同期比38.3%減）、経常利益は183百万円（前年同期比17.8%減）、四半期純利益は54百万円（前年同期比62.0%減）となっております。これは主に積極的な営業の展開による、販売促進費並びに介護施設の立上げ費用の増加による、販売費及び一般管理費が増加したことによるものであります。また、当社グループにおける主力事業である移動体通信店舗事業におきまして、販売台数については前年同月対比において堅調に推移しているものの、平均粗利単価が低下したことが、利益減の主な要因となります。

尚、東日本大震災による影響から安全確保のため、一部営業を見合わせていた当社保有の主要賃貸不動産が今般全壊認定となり、行政負担による工事が開始されました。これに伴い固定資産除却損として、152百万円の特別損失の計上を行っております。工事負担費用は伴わないことから、今後はその有効利用を促進していく予定であります。

セグメント別の業績は以下のとおりであります。

① 移動体通信店舗事業

・売上高	7,525百万円	(前年同期比7.0%増)
・営業利益	206百万円	(前年同期比35.1%減)

移動体通信店舗事業におきましては、積極的な営業活動や今後の更なる規模拡大に向けた、新卒の採用を行い、前年実績を上回る総販売台数を獲得し、売上高は7,525百万円（前年同期比7.0%増）となりました。しかしながら、収益性の高い商材の販売比率を高めることはできず、携帯関連商品の販売による利益確保も足りなかったことから、平均粗利単価が低下し、営業利益は、206百万円（前年同期比35.1%減）となっております。

② テレマーケティング事業

・売上高	277百万円	(前年同期比19.0%増)
・営業利益	93百万円	(前年同期比68.4%増)

テレマーケティング事業におきましては、安定的な収益の確保と同時に、積極的に人員の拡大・育成に注力した結果、売上高は277百万円（前年同期比19.0%増）、営業利益は93百万円（前年同期比68.4%増）となっております。今後も新卒採用を軸に積極的な雇用拡大を行っていく予定です。

③ 不動産賃貸事業

・売上高	6百万円	(前年同期比14.0%減)
・営業利益	0百万円	(前年同期比 —)

不動産賃貸事業におきましては、主要賃貸不動産について安全確保のために一部営業を見合わせているため、売上高は6百万円（前年同期比14.0%減）、営業利益0百万円（前年同期は2百万円の営業損失）となっておりますが、今般全壊認定となり、行政負担による工事が開始されました。これに伴い固定資産除却損として、152百万円の特別損失の計上を行っております。工事負担費用は伴わないことから、今後はその有効利用を促進していく予定であります。

④ その他

・売上高	88百万円	(前年同期比27.3%減)
・営業損失	△35百万円	(前年同期比 —)

震災の影響もあり、通信回線サービス事業につきましては営業を縮小しておりますが、医療・介護事業において介護予防通所介護施設を運営しており、売上高は88百万円（前年同期比27.3%減）、営業損失35百万円（前年同期は40百万円の営業損失）となっております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

(百万円未満切捨て)

	平成24年10月期末 (平成24年10月31日)	平成25年10月期 第2四半期末 (平成25年4月30日)	増減額
資産合計	5,905百万円	5,270百万円	△634百万円
負債合計	3,466百万円	2,790百万円	△675百万円
純資産合計	2,439百万円	2,480百万円	40百万円
自己資本比率	41.3%	47.0%	5.8point
1株当たり純資産	443.25円	450.93円	7.69円

当第2四半期連結会計期間末における資産の状況は、前連結会計年度末と比較して、流動資産は606百万円減少して2,090百万円、固定資産は27百万円減少して3,172百万円となりました。これは主に長期借入金の返済に伴う現金及び預金363百万円の減少、並びにのれん償却費の計上によるものであります。その結果、総資産は634百万円減少して5,270百万円となりました。

負債の状況は、流動負債は129百万円減少して2,407百万円、固定負債は545百万円減少して383百万円となりました。これは主に長期借入金の長短振替並びに社債及び借入金の合計247百万円の減少によるものであります。その結果、負債総額は675百万円減少して2,790百万円となりました。

純資産の状況は、40百万円増加して2,480百万円となりました。

② キャッシュ・フローの状況

	平成24年10月期 第2四半期連結会計期間 (平成23年11月1日～ 平成24年4月30日)	平成25年10月期 第2四半期連結会計期間 (平成24年11月1日～ 平成25年4月30日)	増減額
営業活動による キャッシュ・フロー	200百万円	49百万円	△150百万円
投資活動による キャッシュ・フロー	60百万円	△139百万円	△200百万円
財務活動による キャッシュ・フロー	△436百万円	△276百万円	160百万円
現金及び現金同等物の 増減額	△175百万円	△360百万円	△184百万円
現金及び現金同等物の 期末残高	521百万円	325百万円	△196百万円

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して360百万円減少して325百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、49百万円（前年同期は200百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の73百万円と固定資産除却損の計上152百万円、売上債権の減少207百万円、仕入債務の減少344百万円と法人税等の支払48百万円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、139百万円（前年同期は60百万円の収入）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出96百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、276百万円（前年同期は436百万円の支出）となりました。これは主に借入金の返済312百万円によるものであり、前年同期と比較して借入額が少なくなっております。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年12月13日に公表いたしました通期連結業績予想を据え置いております。業績予想の修正が必要な場合は速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	707,484	344,078
売掛金	1,476,312	1,268,554
商品	294,615	277,760
その他	220,943	202,700
貸倒引当金	△2,511	△2,511
流動資産合計	2,696,844	2,090,581
固定資産		
有形固定資産		
土地	617,803	617,803
その他(純額)	363,750	234,938
有形固定資産合計	981,553	852,742
無形固定資産		
のれん	1,604,282	1,548,328
その他	28,330	18,301
無形固定資産合計	1,632,613	1,566,630
投資その他の資産		
株主及び株主保有会社に対する金銭債権	641,391	639,862
その他	448,592	556,655
貸倒引当金	△504,506	△443,420
投資その他の資産合計	585,477	753,097
固定資産合計	3,199,644	3,172,469
繰延資産		
社債発行費	8,760	7,870
繰延資産合計	8,760	7,870
資産合計	5,905,249	5,270,921

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年10月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,289,499	945,177
短期借入金	112,000	126,400
1年内返済予定の長期借入金	362,399	653,208
1年内償還予定の社債	90,000	90,000
未払法人税等	67,243	17,944
賞与引当金	42,589	42,067
災害損失引当金	16,500	—
その他	556,801	532,682
流動負債合計	2,537,033	2,407,482
固定負債		
社債	285,000	240,000
長期借入金	618,725	111,372
その他	25,377	32,064
固定負債合計	929,103	383,436
負債合計	3,466,136	2,790,918
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,199,086	1,199,086
資本剰余金	822,760	822,760
利益剰余金	424,368	451,843
自己株式	△9,798	△9,798
株主資本合計	2,436,416	2,463,891
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△296	14,469
その他の包括利益累計額合計	△296	14,469
新株予約権	1,249	—
少数株主持分	1,743	1,641
純資産合計	2,439,113	2,480,002
負債純資産合計	5,905,249	5,270,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
売上高	7,396,517	7,898,593
売上原価	6,117,914	6,648,072
売上総利益	1,278,603	1,250,520
販売費及び一般管理費	※ 1,043,235	※ 1,105,414
営業利益	235,368	145,106
営業外収益		
受取利息	388	329
貸倒引当金戻入額	30,271	61,086
為替差益	—	6,361
その他	2,740	4,428
営業外収益合計	33,400	72,205
営業外費用		
支払利息	20,848	11,231
休止固定資産関係費用	12,144	12,286
その他	12,104	10,020
営業外費用合計	45,097	33,537
経常利益	223,671	183,774
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,249
受取補償金	—	7,651
預り敷金償却益	—	21,210
災害損失引当金戻入額	—	16,500
不正関連損失引当金戻入額	24,353	—
その他	4,721	—
特別利益合計	29,074	46,611
特別損失		
固定資産除却損	5,637	152,222
災害による損失	—	1,585
和解金	1,605	3,500
特別損失合計	7,242	157,307
税金等調整前四半期純利益	245,503	73,079
法人税、住民税及び事業税	22,709	9,086
法人税等調整額	78,825	9,139
法人税等合計	101,534	18,225
少数株主損益調整前四半期純利益	143,968	54,853
少数株主損失(△)	△670	△102
四半期純利益	144,639	54,955

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	143,968	54,853
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,449	14,765
その他の包括利益合計	2,449	14,765
四半期包括利益	146,418	69,618
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	147,089	69,721
少数株主に係る四半期包括利益	△670	△102

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	245,503	73,079
減価償却費	45,089	43,906
のれん償却額	57,295	57,412
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△30,271	△61,086
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12,876	1,173
受取利息及び受取配当金	△388	△344
支払利息	20,848	11,231
不正関連損失引当金戻入額	△28,530	—
固定資産除却損	5,637	152,222
受取補償金	—	△7,651
新株予約権戻入益	—	△1,249
売上債権の増減額 (△は増加)	267,957	207,757
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△2,504	16,537
仕入債務の増減額 (△は減少)	△308,301	△344,321
その他	△41,301	△47,018
小計	218,157	101,648
利息及び配当金の受取額	797	127
利息の支払額	△18,211	△12,078
法人税等の支払額	△498	△48,085
法人税等の還付額	26	94
補償金の受取額	—	7,651
営業活動によるキャッシュ・フロー	200,272	49,358
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	100,658	—
有形固定資産の取得による支出	△39,098	△54,105
有形固定資産の売却による収入	1,904	—
無形固定資産の取得による支出	—	△1,565
投資有価証券の取得による支出	—	△96,042
敷金及び保証金の差入による支出	△6,775	△4,024
敷金及び保証金の回収による収入	2,893	4,949
役員に対する金銭債権の減少に伴う収入	—	9,000
株主に対する金銭債権の増加に伴う支出	—	△340
株主に対する金銭債権の減少に伴う収入	900	2,078
株主保有会社に対する金銭債権の増加に伴う支出	△124	△209
貸付けによる支出	—	△850
貸付金の回収による収入	—	1,320
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,358	△139,787

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年11月1日 至平成24年4月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年11月1日 至平成25年4月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	110,000
短期借入金の返済による支出	△112,000	△95,600
長期借入金の返済による支出	△272,288	△216,544
長期未払金の返済による支出	△143	△1,879
社債の償還による支出	△25,000	△45,000
配当金の支払額	△27,073	△27,044
財務活動によるキャッシュ・フロー	△436,504	△276,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	6,361
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,874	△360,136
現金及び現金同等物の期首残高	697,460	685,484
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 521,586	※ 325,347

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

1. 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年11月1日 至 平成24年4月30日）

(千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	移動体通信 店舗事業	テレマーケ ティング 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,033,205	233,508	7,752	7,274,466	122,051	7,396,517	—	7,396,517
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	7,033,205	233,508	7,752	7,274,466	122,051	7,396,517	—	7,396,517
セグメント利益又は損失(△)	318,400	55,527	△2,063	371,864	△40,102	331,762	△96,393	235,368

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療・介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△96,393千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年11月1日 至 平成25年4月30日）

(千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	移動体通信 店舗事業	テレマーケ ティング 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	7,525,354	277,834	6,667	7,809,855	88,737	7,898,593	—	7,898,593
セグメント間の内部売上高	—	—	—	—	73	73	△73	—
計	7,525,354	277,834	6,667	7,809,855	88,810	7,898,666	△73	7,898,593
セグメント利益又は損失(△)	206,654	93,500	98	300,254	△35,546	264,707	△119,601	145,106

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医療・介護事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△119,601千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△119,527千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。